

麗水(ヨス)万博日本館サポーター



☆草薨 剛(クサナギ ツヨシ):

1974年7月9日生まれ・埼玉出身。
1991年、SMAPとしてデビュー。グループとして数々のヒット曲を出す。2011年中国・北京にてコンサートを成功。個人では、歌手、俳優、MCなど様々な活動し、国民的な人気を誇っている。韓国では、「チョナン・カン」の名前で有名。韓国の童話「月の街 山の街」の翻訳も手がけている。



☆さかなクン(サカナクン):

お魚の豊富な知識と経験に裏付けされたお話で、子どもたちを中心に人気のさかなクン。
東京海洋大学客員准教授を務め、農林水産省・お魚大使、環境省地球いきもの応援団、WWF親善大使などを歴任。お魚や自然環境への興味を引きだし、漁業や魚食、そして環境保全への理解が増すよう全国各地で講演活動を行っている。



☆高砂 淳二(タカサゴ ジュンジ):

自然写真家。1962年、宮城県石巻市生まれ。海の中から生き物、風景まで、地球全体をフィールドに、自然全体の繋がりがや人とのかわり合いなどをテーマに撮影活動を行っている。「night rainbow」「Children of the Rainbow」(小学館)、「ジャックマイヨールとの海の日々」(共著・七賢出版)、など著書多数。ザルツブルグ博物館、渋谷パルコ、阪急百貨店など、写真展多数開催。



☆沈 壽官(チン ジュカン):

薩摩焼宗家。1959年鹿児島生まれ。1983年早稲田大学卒業。1988年イタリア国立美術陶芸学校卒業。1999年第15代沈壽官を襲名。ソウル、ニューヨーク、パリに等おいても多くの作品を発表。沈家は代々、薩摩藩焼物製造細工人としての家系をたどり、幕末期には天才十二代壽官を輩出し、日本を代表して明治6年のウィーン万博はじめ幾多の万博に出展した。



☆畠山 重篤(ハタケヤマ シゲアツ):

1943年中国上海生まれ。「牡蠣の森を慕う会」代表。「NPO法人森は海の恋人」理事長。
京都大学フィールド科学教育研究センター社会連携教授。高校卒業後、牡蠣、帆立の養殖に従事する。家業のかたわら「森は海の恋人」を合言葉に、気仙沼湾に注ぐ大川上流の室根山へ植樹活動を続ける。



☆平井 美鈴(ヒライ ミスズ):

1973年・東京都出身。2003年フリーダイビング競技を始め、毎年記録を更新する世界ランカー。「海を敬愛するリアル・マーメイド」として、2010年よりNPO ELNAと海洋保全PR活動「Marine Action」を開始。趣味は灯台巡り。
※世界選手権2010(団体)・金メダル
※世界選手権2011(個人)・銅メダル
※CWT(足ヒレ素潜り)-82m(世界歴代5位)



☆深川 由起子(フカガワ ユキコ):

早稲田大学政治経済学部教授。韓国を中心に東アジアの貿易、経済発展を研究。早稲田大学卒業後、日本貿易振興会(JETRO)入会。長銀総合研究所、青山学院大学経済学部助教授、東京大学大学院総合文化研究科・教養学部教授を経て2006年4月より現職。共編著に「世界政治経済と日本・米国・中国」、東洋経済新報社、2010年など。



☆宮田 亮平(ミヤタ リョウヘイ):

金工作家。新潟県佐渡に生まれる。現在、東京藝術大学学長として大学経営にあたる傍ら、イルカをモチーフとした「シュプリング」シリーズなどの作品で、「宮田亮平 展」(個展)をはじめとして、国内外で多数の展覧会に参加している。「日展」内閣総理大臣賞や、「日本現代工芸美術展」大賞・文部大臣賞・内閣総理大臣賞など数々の賞を受賞した。



☆モリゾー&キッコロ:

2005年に「自然の叡智」をテーマに開催された愛・地球博の公式マスコットキャラクター。
森の精である森のおじいちゃん(モリゾー)と森のこども(キッコロ)をイメージしたもので、愛・地球博閉幕後も日本全国をはじめ海外でも「環境活動」「環境啓発」のシンボルとして親しまれ、大活躍している。

※五十音順、敬称略



☆麗水(ヨス)万博日本館シンボルマーク

日本館では、樹木の生い茂る森や人々の生活する里と連環して成り立つ海の恵みと、日本人の海との共生の営みを示します。
このマークは、日本館のシンボルとして、海の生物の多様性、魚の群れ、里の稲穂、森の木の葉、そして地球(=海球)をイメージし、デザインしています。